

騒音の処理方法概要書

(単位 デシベル)

① 発生源である施設等					
④ 発生源での騒音レベル		m dB	m dB	m dB	m dB
騒音対策による減衰値	⑤ 音源対策による減衰	dB	dB	dB	dB
	音源対策の内容				
	⑥ 距離減衰	m dB	m dB	m dB	m dB
	⑦ 建屋による減衰	dB	dB	dB	dB
	⑧ 防音対策による減衰	dB	dB	dB	dB
	防音対策の内容				
	⑨ 減衰値合計 ⑤+⑥+⑦+⑧	dB	dB	dB	dB
② 規制基準が適用される敷地境界線上の地点の番号又は記号					
③ 敷地境界線上の騒音レベル予測値 ④-⑨		dB	dB	dB	dB
施設の使用時間		時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される規制基準		【午前8時から 午後6時まで】 dB	【午前6時から午前8 時まで及び午後6時 から午後11時まで】 dB	【午後11時から 午前6時まで】 dB	
添付書類	<input type="checkbox"/> 発生源での騒音レベルの根拠を明らかにする書類 <input type="checkbox"/> 施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離並びに規制基準が適用される敷地境界線上の地点の番号又は記号を示した図面 <input type="checkbox"/> 音源対策、建屋又は防音対策による減衰の根拠を明らかにする書類				

- 備考
- 1 発生源である施設等の欄には、同じ型式の施設を複数台設置する場合は、施設の数だけ記入してください。
  - 2 音源対策の内容の欄には、防音カバー、消音器の設置等の騒音を減衰させる方法を具体的に記入してください。
  - 3 距離減衰の欄には、発生源の騒音レベルを測定した地点から規制基準が適用される

地点までの距離により減衰した数値を記入してください。

- 4 防音対策の内容の欄には、防音壁、吸音板の設置等の騒音の伝搬を減ずるために講じた方法を具体的に記入してください。
- 5 規制基準が適用される敷地境界線上の地点の番号又は記号の欄には、発生源の騒音が最も大きくなる位置を推定し、規制基準が適用される地点として添付した図面に記載した番号又は記号を記入してください。
- 6 添付書類の欄には、添付した書類については口内に☑印を記入してください。